

【実施例】2部制実施（1部:11:00～12:30 2部:13:30～15:00）※各部1時間半ずつ

- 1)段取 ※以下のスケジュール例は、前日までに搬入を済ませた場合の例です。
 （当日搬入の場合は、「準備①」の前に搬入時間要。）
 ※ふわふわ遊具の保管場所は筑後市役所商工観光課の倉庫につき、借用可能曜日は平日9～16時。
 借用前には、運搬専用車の調達、商工観光課や筑後市観光協会との借用日時の調整が必要です。

準備①	9:30	設営、事前に風速等計測の上、送風膨み状況確認
	10:00	送風一旦停止
	10:40	運営送風開始
運営①	11:00～12:30	第1部運営
運営休憩	12:40	送風停止(昼休み～13:30)
準備②	13:20	送風開始
運営②	13:30～15:00	第2部運営
	15:10	送風停止 運営終了
撤去		送風機、発電機、ウェイトなど片づけ(1カ所にまとめる) 本体片づけ、車積み込み、搬送

2)天候確認 天気:晴れのち曇り

計測時間	風速	気温
10:40	0m/s	37.1℃
13:20	0m/s	35.0℃

- *風速が強い時には、ブルーシートの設置や撤去時の折りたたみに手間取ります
- *事前に、点検リストや安全マニュアルを熟読してください。
- *遊具は、ビニール素材で静電気が発生しやすいため、落雷注意。

3)組立時

●組立時

- ・空気抜き穴が開いたままになっているので、送風開始時には、注意して閉じるようにします。
- ・本体が、後ろに倒れやすくなるので、傾きや風による影響に注意が必要ですが、組立時に砂袋のウェイトを後ろ側のフックに多めに取り付けると、本体振動の軽減ができます。(前方に1個、後方に2個など)

●発電機、送風機

【レンタル発電機 使用例】

電源が近くにある場合は、発電機をレンタルする必要はありませんが、延長コード(家庭用は不可)等の準備が必要です。電源がない場合は、発電機をあらかじめ準備する必要があります。
 レンタルに必要な発電機の台数や性能は、運営時間に応じて変わります。

※今回の発電機レンタルについては、1.6kVAを4日間で4台レンタルした場合 14,000円程度でした。
 レンタル時には、燃料であるガソリンが満タンの状態ですが、返却前にガソリンスタンドで補充した上で、満タンにして返却をする必要がありましたので、その分の予算と時間を見積もっておく必要があります。

※今回の発電機の機種は、「新ダイワ(shindaiwa)」「(株)工進(KOSHIN GV-16i)」の2種類でしたが、(株)工進(KOSHIN GV-16i)は、本体用送風機に繋ぐと過負荷で使用できなかったため、注意が必要です。

※今回、本体用送風機は、燃料満タンの発電機1台で約3.5時間稼働出来たが、レンタル業者の情報は約3時間とのことなので注意が必要

発電機	本体用送風機	土台用送風機
新ダイワ(shindaiwa)	○(使用可)	○
(株)工進(KOSHIN GV-16i)	×(使用不可)	○

- ・給電について…できればコンセントからドラムで給電するのがよいそうです。
- ・1.6kVAの場合、途中で発電機の入替が必要ですが、3kVAの発電機1台では、本体用、土台用両方に使用可能であり、過去に10～17時位まで継続使用できたことがあるそうです。
 但し、3kVAは重いので運搬に注意が必要です。
 (2kVAの場合は、本体用、土台用の各々に発電機が必要となり、4時間ほどしか継続使用ができない)
- ・運用中に本体の振動により、土台用送風機の位置が動いて送風口が曲がったり外れかけたりするため、運営中には送風機の位置を元の位置に修正し、確実に送風できるように定期的な確認が必要です。
 (土台用送風機ほどではありませんが、本体用送風機も動く傾向があり、注意が必要です。)

4)運営時

※注意事項、POP掲示、救急箱の準備については、別紙を参照してください。

●人員配置について

受付時の注意事項の伝達や保護者からの対応、列整理、靴脱着エリア案内、身体検査、入退場時フォロー、忘れ物確認(有料の場合は金銭授受)等の対応がありますので、運営スタッフは4人以上必要だと思います。

●列整理について ※夏場の列整理時には、日陰やテントを視野に入れた熱中症対策が重要です。

希望者による長蛇の列ができる場合を想定し、列整理時の待機中用に、番号札を使用。

No.1～10の赤・青・黒3種類の番号札を準備。ブルーシート上には、遊具設置以外のスペースに約30人の子どもを整列することが可能ですので、準備する番号札は、No.1～10×3セットで丁度よいと思います。

●入退場について

・身長制限など

例えば、身長の子が遊具内で走り回ると、揺れが激しくなり、小さな子に影響することもあります。そのため、安全に運営するには、状況によっては、身体差のある子どもの順番を替えることも必要です。

・身体検査・持ち物の検査について

・遊具破損やケガのリスク回避のために、眼鏡、帽子、ヘアピン等をつけた子どもには事前に外していただき、保護者に預かっていただきますが、保護者がいない場合は、あらかじめ準備したカゴ等に預かっておく必要がありますが、終了後に、預かったものを子どもが忘れないように声掛けをする配慮も要します。

●靴の脱着場の設置について

ブルーシート上に子どもたちが待機する際には、靴脱着の場所の事前設置と導線案内が必要です。場所の設置や導線計画をしなければ、子どもたちの移動時に靴が導線上の障害物となり、手間を要します。

●階段・遊具内への入退場時の注意事項について

据え付け階段は段差がやや高く、特に降りる時には、身長が小さな子には要注意です。(飛び降り禁止)特に退場時には、子供たちが急いで出ようとするので、後ろにいる子どもが出入口にいる子どもを後方から押さないように、一人ずつゆっくり降りるように、声掛けの実施が重要です。

出入口を開けっ放しにすると、空気が漏れて本体がしぼむことがありますので、次の待機グループを誘導する前に、出入口を閉めて、遊具を膨らませる必要がある場合もあります。

●運営中の遊具の破損について

万が一、遊具の破れた場合は、安全確保のため、その場で運営を中止してください。修理には、費用と日数を要しますので、破れには充分にご注意ください。破損が生じた際の弁償費用は、全額ご負担いただきます。

⑤ ●片付けについて

・空気を抜く際に、はね丸の頭部のたたみ込みに手間と時間を要します。
・本体の空気をしっかりと抜き、本体をコンパクトにたたまなければ、本体が専用カバーに入らなくなります。

●遊具内部の清掃について

・使用後は、特に縫製部分の溝などに、髪の毛、ほこりが残っていますので、除菌シートなどでゴミなどを取り除く必要があります。ハンディー掃除機や粘着シートクリーナー等の準備が必要です。
・内側の壁や窓部にも指紋などが残っているため、ふき取りの上、ファブリーズ等の消臭剤の散布が必要です。(特に夏場は、消臭剤を空間にも散布し、消臭要です。)

●搬送時について

・本体を傷つけないように、積載部分にゆとりのある搬入出車を準備してください。